

目的 市義務教育の振興に係る長期構想策定に資する識見を得るため、小中一貫教育の先進地を訪ね、その成果と課題について学ぶ。

視察日 11月19日～20日
視察先 岐阜県大垣市
愛知県飛鳥村



大垣市市役所にて説明を受ける

小中一貫（連携）教育とは？

前期初等教育（一般の小学校で行われている教育）と後期初等教育（一般の中学校で行われている教育）の課程を調整し、無駄をはぶいて一貫性を持たせた体系的な教育方式のこと。個々の児童の発達に合わせた教育をするためには、小学校と中学校でまったく別な教育をするよりも一貫性を持たせた教育をした方が良いということで、近年は、小学校と中学校の教育を統合した公立の小中一貫校が徐々に作られてきている。ちなみに、OECDの学力テストで4年連続首位に輝いたフィンランドは六三三四制の教育制度であったが小学校と中学校を統合し総合学校としている。

11月15日、視察に向け教育委員会より「小中一貫（連携）教育」（左記）について説明を受けた。

大垣市の取り組み

平成12年より、小中一貫教育研究指定校を決め、年々指定校を増やし、現在では、すべての小中学校が参加している。小中学校を、10グループに編成している。背景は、不登校が中学校で激増したため、その要因の一

連携の方法



H19年度市内小中学校兼務教員22名

連携の内容

教科：国語、算数・数学、社会科、音楽、理科、英語・英語活動
9年間カリキュラムに基づく（国語、算数・数学、英語・英語活動）
小中の教員でチームティーチング（T・T）を基本として指導
道徳、運動会・体育祭などの行事、部活動の交流、奉仕活動など

つとして、小・中学校の在り方の違いがあるとして、小中学校の段差をなくするために始めた。

10グループは、近くの学校もあり、また遠くの学校との連携もあるので、その地域の状況に合わせた取り組みをしていた。

飛鳥村の取り組み

平成16年に、小中一貫教育及び教育特区研究会を設置した。平成22年4月には、小中一貫校飛鳥学園を開校する。



短期間の視察研修であったが受け入れ先に万全の態勢と懇切な指導助言を頂き、多大の成果が得られました。